

本のぽけっと

3・4年生に
おすすめする本

市川市立図書館

うちはお人形の修理屋さん

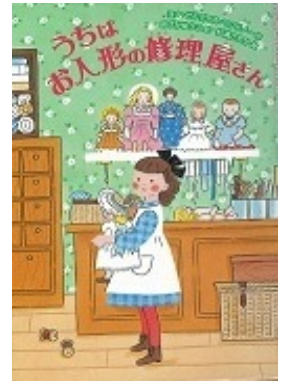


ヨナ・ゼルディス・マクドノー／作 おびかゆうこ／訳 杉浦さやか／絵 徳間書店

アナは9さいの女の子です。お父さんはうでのいい人形の修理屋さん。絵の上手なお母さんと、お人形を直すお店をひらいています。アナは三姉妹の真ん中で、優等生のソフィーおねえちゃんと、あまえんぼうのトルーディという妹がいます。

三人の楽しみはお人形であそぶことで、お店であずかっているお気に入りのお人形に名前をつけてとてもだいじにしていました。

けれども、ヨーロッパで大きな戦争がはじまり、人形の部品が手に入らなくなって、お父さんは仕事ができなくなってしまいます。そこでアナは、いいことを思いつきました。手に入る材料で、新しいお人形をつくるのです。



草と木で包む



日本の「包む文化」

U. G. サトー／文と絵 後藤九・酒井道一／写真 福音館書店

私たちは、食べものを持ち運んだりとっておく時、むきだしのままにはしません。こわれたり、よごれたりしないように、かならず何かに包んでいます。今お店で買う食べものは、ビニールやプラスチックなど工業でつくられたもので包まれていることが多いですが、そのようなものがなかったときは自然の中にあるもので包まれていました。日本では草や木などを

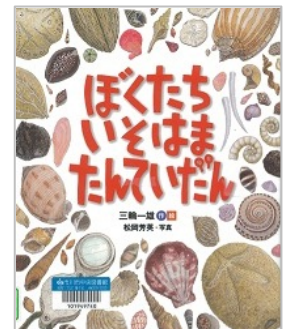
つかって、むだがなく使いやすく、そして見た目も美しい包み方が考えられ、それが今もつたえられています。この本には、昔から日本につたわる包み方が、きれいなしゃしんでわかりやすくしょうかいされています。

さあ、海に行こう！

ぼくたちいそはまたんていだん

三輪一雄／作・絵 松岡芳英／写真 偕成社

春休みにじっちゃんが、まごの「かいと」と「まり」のために考えたのは、海のなぞときゲームだった。「春のはま アサガオの花さきみだれよせてはかえすめんの玉 タコがまくらでカシパンくえば チャガマのゆもわきブンブクブー」。このあやしい文の中に漂着物の名前がかくされているらしい。漂着物とは、波によって海岸にうちあげられるすべてのもののこと。さあ、2人でいそはまたんていだんになって、なぞをといてじっちゃんをおどろかそう。





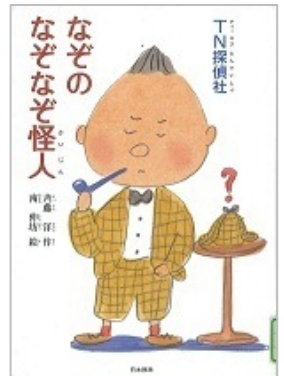
ティーエヌたんていしゃ **TN 探偵社** **なぞのなぞなぞ怪人** かいじん

さいらうひろし 南雲 健太郎 / 作 みなみしんぼう 南 伸坊 / 絵 にっぽんひょうじゆん 日本標準

小学生の南雲健太郎は、3万8千円のラジコンのヨットほしさにアルバイトをさがしていました。「アルバイトぼしゅう。小学生でもできるしごと。東条探偵社」のはり紙を見て、一時間百二十五円で、探偵東条四郎の助手をはじめます。るすばんがしごとのはずだったのに、太ったおじさんが「まをおいてもてりでるが…」という暗号の手紙をもってノックの音とともにあらわれたのです。

東条探偵社はその後、東条と南雲の頭文字のイニシャルをとって「ティーエヌ TN 探偵社」となります。健太郎は小学生探偵としてどんな活やくをするでしょうか。

「TN探偵社」の本はシリーズがあります。



赤ちゃんおばけベロンカ



あたらしいことばを
はつめい
発明したら…。

クリスティーネ・ネストリンガー / 作

フランツィスカ・ピアマン / 絵 わかまつのりこ 若松宣子 / 訳 かいせいしゃ 偕成社

こわがりやの男の子ヨッシーは、いらいらした時ときとなえるための、じぶんで発明したことばをもっていました。「バーベロンベロンカ！」ということばです。ある日ヨッシーは、妹いもうとをおどろかすためにおばけをつくることにしました。ふるいクッションにタオルをまき、手ぶくろで手をつけます。目や口は、ママのマニキュアでかきました。かいちゅうでんとうを入れて目をひかさせると、おそろしいおばけのかんせいです。

さて、このおばけの前まえで、ヨッシーがおもいつくまま「バーベロンベロンカ！」となえると、ふしぎなことがおこりました。なんとおばけがおきあがって、口をきいたのです！それは赤ちゃんおばけのベロンカでした。



「本のぼけっと」は、図書館から小学生のみなさんにおすすめしている本のリストです。

年に2回、最新号と基本版を各市立小学校に配布、市立図書館、関連施設でも配布しているほか、

バックナンバーはホームページでもご覧いただけます。また、ここで紹介している本は市川市の図書館で
かりることができます。

中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館

